



美浦知る・発見として、地域おこし協力隊目線で美浦村のことや活動のことを発信していきます

## 美浦のストーリー「くわや」

「すまんじゅうの旗が立つと、夏が来た～と感じる」、「手土産にマドレーヌを買っていた」など、木原商店街にある『くわやさん』の話在美浦でよく耳にします。お店は令和5年8月に閉店したとのことで、すまんじゅうやマドレーヌが気になり、「地域おこし協力隊通信」を第一弾として、くわやの青野満さんにお話を伺いました！

明治元年創業のくわやさん。兄である青野潔さんがすまんじゅうや和菓子を担当し、弟の満さんが洋菓子を手がけ、長年にわたり木原商店街、そして美浦トレーニング・センター近くのとぴあで12年ほど菓子を販売されていました。

満さんが子供の頃は、朝6時過ぎから近所の人々が出来立てのすまんじゅうを買いに来て、朝からお店が近所の人たちの溜まり場となっていたとのこと。

出来立てを食べると、冷めたものが食べられない！というほど、できたてのすまんじゅうは美味しいということで、一体どのように作られているのか気になります。

くわやさんのすまんじゅう、実はどぶろくから作られており、米に米麴を混ぜ発酵させるため4月下旬から作り始めることから、5～10月までの季節限定となっているそうです。そして、

すまんじゅうと並んで人気だったマドレーヌ。美浦土産の定番で、長年、満さんが試作を重ねてたどり着いた味。詳細はまた今度！

最後に、皆さんが気になるであろう「もう、すまんじゅうやマドレーヌは食べられないのか？」という質問をしました。コロナ、原材料高騰などの時代の流れにより、閉店しましたが、レシピを教えることは歓迎とのこと。美浦そしてくわやの味や思い出を大切にしていきたいですね。



←当時の写真と、くわやの菓子類の手書きレシピ集



→くわやの厨房。右端にすまんじゅうを発酵させていた室（ムロ）が見える。

芸能発表ゲストステージ  
北条きよ美さん  
北岡ひろしさん

## 第41回美浦村文化協会 春の発表会



5月25日(土)・26日(日)

会場

美浦村中央公民館

### ◆ 展示の部 ◆

5月25日 午前9時～午後5時  
26日 午前9時～午後4時

油絵・絵てがみ・陶芸・俚謡・俳句・写真など、各団体の力作を展示

### ◆ ステージ発表の部 ◆

5月26日 午前11時～

カラオケ・舞踊・フラダンス・太鼓など  
日頃の活動の成果を披露

主催：美浦村文化協会 問合せ 生涯学習課 (美浦村中央公民館内) ☎ 029-885-4451